

令和5年度天草市子ども会球技大会開催要項

1 趣旨

天草市子ども会育成連絡協議会に加盟する少年団体の代表が一堂に会し、スポーツを通じてなかまづくりを行うとともに、技術の練磨と体力増強に役立てる機会として本大会を実施する。

2 主催

天草市子ども会育成連絡協議会

3 協力

天草市ソフトボール協会、天草市本渡ミニバレー協会

4 後援

天草市教育委員会、天草市スポーツ協会、天草市社会福祉協議会、天草市PTA連絡協議会、天草市青少年育成協議会、天草ロータリークラブ、天草中央ロータリークラブ、牛深ロータリークラブ、天草本渡ライオンズクラブ

5 期日

令和5年8月6日（日） 午前9時00分 試合開始

※雨天の場合は、ソフトボールについては中止とし、大会出場チームの中から抽選で、県子連球技大会出場チームを2チーム選出する。

6 会場

- | | |
|-----------------|---------|
| (1) 開会式会場 | 河浦中央体育館 |
| (2) ソフトボール会場 | 河浦総合運動場 |
| (3) ビーチボールバレー会場 | 河浦中央体育館 |

7 実施大会名

- (1) ソフトボール大会
- (2) チャンピオンシップビーチボールバレー大会（女子の部、混合の部）
- (3) フレンドリーシップビーチボールバレー大会

8 参加資格

- (1) 天草市子ども会育成連絡協議会に登録している小学生とする。
- (2) (1)の資格を有している小学生であれば、校区を超えてのチーム編成やクラブチームでのチーム編成も認めることとする。ただしチーム名には必ず地域名または学校名を入れる。

9 申込方法及び申込書提出先

参加を希望するチームは、大会申込書を期限までに提出すること。

【提出先】

〒863-0034 天草市浄南町4番15号（天草市複合施設こくらす内）
天草市教育委員会 生涯学習課内 天草市子ども会育成連絡協議会事務局 畑中
TEL：27-7788 FAX：23-8811
E-mail syakyou@city.amakusa.lg.jp

10 申込期限

令和5年7月4日（火） 必着

11 参加費

無料

12 監督者会議 ※監督は校区理事及び運営スタッフとの兼務はできません。

- (1) 期日 **令和5年7月25日(火)**
 - ・ソフトボール 午後7時00分から
 - ・ビーチボールバレー 午後8時00分から(予定)※ソフト監督者会議終了後
- (2) 会場 天草市複合施設こころす会議室ABC

13 理事・運営スタッフ会議 ※運営スタッフは校区理事及び監督との兼務はできません。

- (1) 期日 **令和5年7月31日(月)** 午後7時30分から
- (2) 会場 天草市複合施設こころす会議室ABC

14 大会日程

- (1) 開催決定 午前5時30分
- (2) 受付 **午前7時30分から午前7時50分(河浦中央体育館)**
- (3) 開会式 午前8時00分から(河浦中央体育館)**
- (4) 試合開始 午前9時00分から
- (5) 表彰式 各カテゴリーにおいて競技終了後に実施

15 その他

開催の有無は午前5時30分に決定するので、確認は各チームの監督・コーチが行うこと。

※開催決定は「**天草市子ども会育成連絡協議会ホームページ**」でお知らせする。

- 【問い合わせ先】
- 1 会長 松尾 090-8396-9834
 - 2 副会長 島崎 090-1165-0043
 - 3 事務局 畑中 090-2080-7413

令和5年度天草市子ども会球技大会

ソフトボール大会実施要項

1 会場

河浦総合運動場

2 参加資格

- (1) 天草市子ども会育成連絡協議会に登録している小学生とする。
- (2) (1)の資格を有している小学生であれば、校区を超えてのチーム編成やクラブチームでのチーム編成も認めることとする。ただしチーム名には必ず地域名または学校名を入れること。

3 参加費

無料

4 チーム編成

監督1人・コーチ1人・選手15人 合計17人以内

5 試合球及びバット

2号ボールを使用し、2号ボール規格と同一のバットを使用すること。

6 競技方法

- (1) 2023年度日本ソフトボール協会オフィシャル・ルール及び本大会申し合わせ事項による。
- (2) 競技方法については、リンク戦とするが、出場チーム数によっては、変更する場合がある。
- (3) 上位2チームには、県大会出場権を与える。
※上位3チーム以上が同点となった場合は、抽選により県大会出場チームを決定する。
※雨天中止の場合、県大会出場希望チームから2チームを抽選で選出する。県大会出場希望チームは、午前8時00分から午前8時30分までに河浦中央体育館で受付をすること。抽選は受付時間終了後、チームの監督が予備抽選を行い、その順番で主将が本抽選を行う。
- (4) 順位及び県大会出場チームの選考は、次の順により計算し決定する。
 - ア 勝ち点（勝ち3点・引き分け1点・負け0点）
 - イ 失点率（失点÷守備イニング数）
 - ウ 得点率（得点÷攻撃イニング数）※アからウが同点の場合は、抽選とする。
- (5) 試合は5イニングとし、50分を過ぎたら新しいイニングに入らない。

7 申込方法及び申込書提出先

参加を希望するチームは、選手名簿を申し込み期限までに提出すること。

【提出先】

〒863-0034 天草市浄南町4番15号（天草市複合施設こらす内）
天草市教育委員会 生涯学習課内 天草市子ども会育成連絡協議会事務局 畑中
TEL：27-7788 FAX：23-8811
E-mail syakyou@city.amakusa.lg.jp

8 申込期限

令和5年7月4日（火） 必着

9 監督者会議 ※監督は校区理事及び運営スタッフとの兼務はできない。

- (1) 期日 令和5年7月25日(火) 午後7時00分から
- (2) 会場 天草市複合施設こくらす会議室ABC
- (3) その他 各チームから代表者1人が必ず出席すること。

10 理事・運営スタッフ会議 ※運営スタッフは校区理事及び監督との兼務はできない。

- (1) 期日 令和5年7月31日(月) 午後7時30分から
- (2) 会場 天草市複合施設こくらす会議室ABC
- (3) その他 各チームから1人が必ず出席すること。

11 その他

- (1) 各チームから1人の運営スタッフを選出すること。
- (2) 背番号(監督30・コーチ31・選手)をつけること。
- (3) 打者及びランナーコーチは、ヘルメットを必ず着用すること。また、ランナーコーチは、必ず選手が入ること。
- (4) 選手の移動等については、各チームで責任をもって行うこと。
- (5) 大会参加中の事故については、全国子ども会安全共済会の補償の範囲内で補償を行う。
- (6) 監督、コーチ、選手及び応援者等が、次のようなスポーツマンシップに違反した場合、審判員は違反した個人またはチームを退場させることができる。
 - ①判定に影響を及ぼすような言動、行為及び選手の品位を損なうような言動等の行為が、審判員の注意後にも行われた場合。
 - ②口論や名誉を傷つける言動及び判定を不満とする反抗的態度を示したとき。
 - ③その他、審判員がスポーツマンシップに欠けると判断したとき。
- (7) ゴミ等は、必ず持ち帰ること。
- (8) 体育施設及び学校施設は、敷地内禁煙のため、喫煙は敷地外で行うこと。
- (9) 競技中の応援は、競技進行への影響を考慮し、安全な場所で行うこと。
- (10) グラウンド整備は、試合終了後両チームで行うこと。
- (11) 校区理事は、各チームのスタッフとは別に業務があるため、監督及び運営スタッフとの兼務はできない。

市子連ソフトボール申し合わせ事項

〔 日本ソフトボール協会では、リンク戦の場合 勝ち点、失点率、得点率の順で順位をつける。 〕

順位は、次の順により決定する。

ア 勝ち点（勝ち3点・引き分け1点・負け0点）

イ 失点率（失点÷守備イニング数）

ウ 得点率（得点÷攻撃イニング数）

※上記のア・イ・ウが同点の場合、直接対戦があった場合は、その対戦の勝利チームを上位とする。直接対戦がなかった場合は、抽選とする。

ゲーム1

	1	2	3	4	5	合計
Aチーム	2	2	1			5
Bチーム	3	3				6

- 上記試合は、3イニング表Aチームの攻撃中に50分を過ぎたので、新しいイニングには入れない。3イニング表終了時に試合終了となる。
- Bチームは、勝ち点3点、失点率1.666（5点÷3イニング）、得点率3（6点÷2イニング）となる。（Bチームの守備機会は3イニングある）

ゲーム2

	1	2	3	4	5	合計
Cチーム	2	3	1	2		8
Dチーム	0	1	1	7		9

- 上記試合は、4イニング表Cチームの攻撃終了時に50分を過ぎたが、Cチームが多く得点していたため、4イニング裏Dチームの攻撃まで行う。
Dチームが逆転した時点でサヨナラゲームとなり終了（ノーアウトでも）。
- Dチームは、勝ち点3点、失点率2（8点÷4イニング）、得点率2.25（9点÷4イニング）となる。（Dチームの守備機会は4イニングある）

※Bチーム・Dチームとも、勝ち点は3点であるが、失点率（1イニングの守備機会に失う点数）が、Bチームの方が1.666と少ないため、Bチームの方が上位チームとなる。

ゲーム3

	1	2	3	4	5	合計
Eチーム	0	0	0			0
Fチーム	3	7	3			10

- 上記試合は、3イニング表Eチームの攻撃終了時に45分を経過していた。
 3イニング裏Fチームの攻撃が5分以内で終了すれば、4イニング表の攻撃となるが、Fチームが3点を取り攻撃中に50分を過ぎてしまったためゲームセットとなる。
 この場合、3イニング裏Fチームの得点3点は無効となり、2イニングまでの得点10点がFチームの得点となる。
 得点率は5（10点÷2イニング）である。

失点率＝1イニングの守備で平均何点失ったか、
 得点率＝1イニングの攻撃で平均何点とったか、
 によるものであり、失点数、得点数ではない。

- ⚠ ゲーム1の3イニング裏の攻撃が、よく問題になるが、勝っているチームが攻撃して3点取れば得点率は3点で変わりないが、2点しか取れなかった場合得点率は2.666となり率がさがってしまう。

令和5年度天草市子ども会球技大会

チャンピオンシップビーチボールバレー大会（女子の部、混合の部）実施要項

1 会場

河浦中央体育館（予備：河浦中学校体育館）

2 参加資格

- （１）天草市子ども会育成連絡協議会に登録している小学生とする。
- （２）（１）の資格を有している小学生であれば、校区を超えてのチーム編成やクラブチームでのチーム編成も認めることとする。ただしチーム名には必ず地域名または学校名を入れる。

3 参加費

無料

4 チーム編成

監督１人・コーチ１人・選手８人 合計１０人以内

5 競技方法

- （１）天草市子ども会育成連絡協議会ビーチボールバレールール及び本大会申し合わせ事項による。
- （２）各部上位２チームには、県子連球技大会出場権を与える。
※各部上位２チームが同順位により ３チーム以上となった場合、同順位のチームから抽選で県大会出場チームを決定する。
- （３）基本的にリーグ戦とするが、出場チーム数によっては変更する場合がある。
- （４）混合の部では、コート内でプレーできる男子の人数は２人以下とする。
- （５）順位は次の順により決定する。
 - ア 勝率
 - イ 得セット率（得セット数の合計÷総セット数）
 - ウ 得点率（総得点÷総失点）※アからウが同じ場合は、抽選とする。

6 申込方法及び申込書提出先

参加を希望するチームは、選手名簿を申し込み期限までに提出すること。

【提出先】

〒863-0034 天草市浄南町4番15号（天草市複合施設こくらす内）
天草市教育委員会 生涯学習課内 天草市子ども会育成連絡協議会事務局 畑中
TEL：27-7788 FAX：23-8811
E-mail syakyou@city.amakusa.lg.jp

7 申込期限

令和5年7月4日（火） 必着

8 監督者会議 ※監督は校区理事及び運営スタッフとの兼務はできない。

- (1) 期 日 令和5年7月25日(火) 午後8時00分から(予定)
- (2) 会 場 天草市複合施設こくらす会議室ABC
- (3) その他 各チームから代表者1人が必ず出席すること。

9 理事・運営スタッフ会議 ※運営スタッフは校区理事及び監督との兼務はできない。

- (1) 期 日 令和5年7月31日(月) 午後7時30分から
- (2) 会 場 天草市複合施設こくらす会議室ABC
- (3) その他 各チームから1人が必ず出席すること。

10 その他

- (1) 各チームから2人の審判を選出すること。
- (2) 各チームから1人の運営スタッフを選出すること。
- (3) 選手は背番号をつけること(主将は1番をつけること)。
- (4) 監督及びコーチは市子連が用意した腕章をつけること。
- (5) 選手の移動等については、各チームで責任をもって行うこと。
- (6) 大会参加中の事故については、全国子ども会安全共済会の補償の範囲内で補償を行う。
- (7) 監督、コーチ、選手及び応援者等が、次のようなスポーツマンシップに違反した場合は、審判員は違反した個人またはチームを退場させることができる。
 - ①判定に影響を及ぼすような言動、行為及び選手の品位を損なうような言動等の行為が、審判員の注意後にも行われた場合。
 - ②口論や名誉を傷つける言動及び判定を不満とする反抗的態度を示したとき。
 - ③その他、審判員がスポーツマンシップに欠けると判断したとき。
- (8) ゴミ等は、必ず持ち帰ること。
- (9) 体育施設及び学校施設は、敷地内禁煙のため、喫煙は敷地外で行うこと。
- (10) 競技中の応援は、競技進行への影響を考慮し、体育館2階観覧席のみとします。
- (11) 校区理事は、各チームのスタッフとは別に業務があるため、監督及び運営スタッフとの兼務はできない。

令和5年度天草市子ども会球技大会

フレンドリーシップビーチボールバレー大会実施要項

1 会場

河浦中央体育館（予備：河浦中学校体育館）

2 参加資格

- （１）天草市子ども会育成連絡協議会に登録している小学生とする。
- （２）（１）の資格を有している小学生であれば、校区を超えてのチーム編成クラブチームでのチーム編成も認めることとする。ただしチーム名には必ず地域名または学校名を入れる。

3 参加費

無料

4 チーム編成

監督１人・コーチ１人・選手１０人 合計１２人以内

5 競技方法

- （１）天草市子ども会育成連絡協議会ビーチボールバレールール及び本大会申し合わせ事項による。
- （２）コート内でプレーできる男子の人数は、２人以下とする。
- （３）予選パート
 - ①予選は各パートによるリンク戦とする。ただし、出場チーム数によっては変更する場合がある。
 - ②決勝トーナメントへの出場チームは次の順により決定する。
順位は次の順により決定する。
 - ア 勝率
 - イ 得セット率（得セット数の合計÷総セット数）
 - ウ 得点率（総得点÷総失点）※アからウが同じ場合は、抽選とする。
- （４）決勝トーナメント
各パートの上位２チームで、決勝トーナメントを行う。

6 申込方法及び申込書提出先

参加を希望するチームは、選手名簿を申し込み期限までに提出すること。

【提出先】

〒863-0034 天草市浄南町4番15号（天草市複合施設こらす内）
天草市教育委員会 生涯学習課内 天草市子ども会育成連絡協議会事務局 畑中
TEL：27-7788 FAX：23-8811
E-mail syakyou@city.amakusa.lg.jp

7 申込期限

令和5年7月4日（火） 必着

8 監督者会議 ※監督は校区理事及び運営スタッフとの兼務はできない。

- (1) 期 日 令和5年7月25日(火) 午後8時00分から(予定)
- (2) 会 場 天草市複合施設こくらす会議室ABC
- (3) その他 各チームから代表者1人が必ず出席すること。

9 理事・運営スタッフ会議 ※運営スタッフは校区理事及び監督との兼務はできない。

- (1) 期 日 令和5年7月31日(月) 午後7時30分から
- (2) 会 場 天草市複合施設こくらす会議室ABC
- (3) その他 各チームから1人が必ず出席すること。

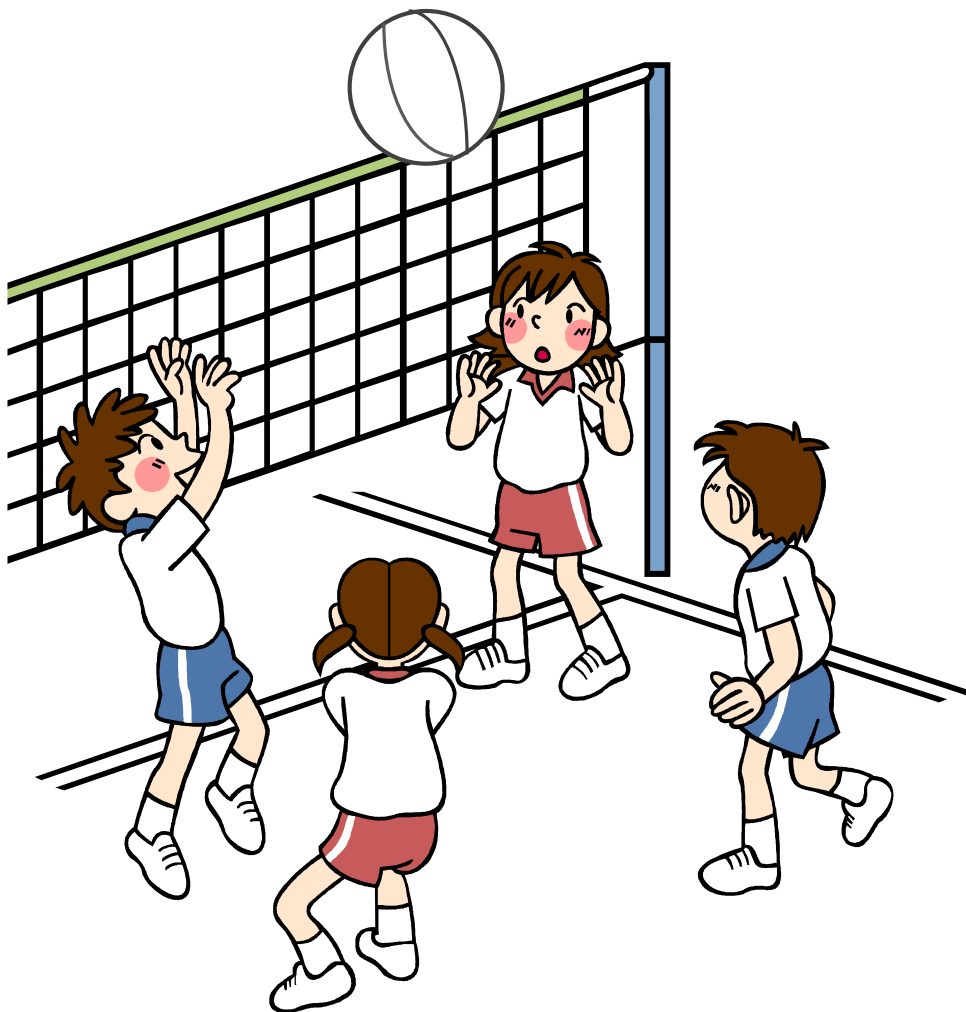
10 その他

- (1) 各チームから2人の審判を選出すること。
- (2) 各チームから1人の運営スタッフを選出すること。
- (3) 選手は背番号をつけること。主将は1番または4番をつけること。
- (4) 監督及びコーチは市子連が用意した腕章をつけること。
- (5) 選手の移動等については、各チームで責任をもって行うこと。
- (6) 大会参加中の事故については、全国子ども会安全共済会の補償の範囲内で補償を行う。
- (7) 監督、コーチ、選手及び応援者等が、次のようなスポーツマンシップに違反した場合は、審判員は違反した個人またはチームを退場させることができる。
 - ①判定に影響を及ぼすような言動、行為及び選手の品位を損なうような言動等の行為が、審判員の注意後にも行われた場合。
 - ②口論や名誉を傷つける言動及び判定を不満とする反抗的態度を示したとき。
 - ③その他、審判員がスポーツマンシップに欠けると判断したとき。
- (8) ゴミ等は、必ず持ち帰ること。
- (9) 体育施設及び学校施設は、敷地内禁煙のため、喫煙は敷地外で行うこと。
- (10) 競技中の応援は、競技進行への影響を考慮し、体育館2階観覧席のみとします。
- (11) 校区理事は、各チームのスタッフとは別に業務があるため、監督及び運営スタッフとの兼務はできない。

天草市子ども会育成連絡協議会

ビーチボールバレー ルールブック

令和元年度 改訂



ビーチボールバレールール

1 施設・用具・服装

(1) コート

コートの大きさは、バドミントンのダブルスコート【図1】とし、センターラインから双方3mの中央に、長さ50cmのサーブラインを設ける。また、サーブラインからエンドラインまでの範囲をサーブエリアとする。

(2) ネット

ネットの高さは、2mとする。ネットは、基本的にバドミントン用を用いるがミニバレー用ネットを代用することができる。

(3) ボール

ボールは、ビニール製で白色【図3】とし直径35cmのビーチボールを使用する。円周は、78cm～80cmとして使用する。

(4) 服装

プレーヤーのユニホームは、チームごとに同一色で、同じ形に統一することを原則とする。また、背番号を中央につけることとする。なお、主将は1番または4番をつける。

2 競技の方法

(1) 競技

- ①熊本県子ども会連合会ビーチボールバレー・ルール及び大会申し合わせ事項による。
- ②基本的に予選はリンク戦、決勝はトーナメント方式とするが、出場チーム数によっては、変更する場合がある。
- ③決勝トーナメントへの出場チームは、次の方法により決定する。
 - ア 勝率
 - イ 得セット率（得セット数の合計÷総セット数）
 - ウ 得点率（総得点÷総失点）但し、アからウが同じ場合は、抽選とする。
- ④競技は、1セット15点先取の3セットマッチでおこない、2セットを先取したチームを勝者とする。サーブ権の有無に関わらず、ラリーに勝つか、相手チームに反則があれば得点できるラリーポイント制で行う。
- ⑤チェンジコートは、セットごとに行う。但し、ファイナル（最終）セットでは、主将のジャンケンにより、サーブ権かコートかのいずれかを選び、途中でのチェンジコートは行わない。
- ⑥次に掲げる事態が生じた時には、直ちに試合を中断し没収試合とする。なお、リンク戦での没収試合の場合の得点は、30対14とする。
 - ア 主審の指示にプレーヤーが従わなかったとき

- イ 試合開始時間を15分過ぎても、プレーヤーが定位置につかないとき
- ウ 登録されていない者がプレーヤーとして出場したとき
- エ 1チームのプレーヤーが、負傷や退場処分により4人以下になったとき

(2) チーム編成とプレーヤー

- ①競技は主将を含む5人制とし、3人以内（フレンドリーシップは5人以内）の交代プレーヤーで編成される。なお、各チームには監督、コーチをそれぞれ1名置くことができる。
- ②主将が選手交代でコートを出るときは、コート内プレーヤーの1人を主将の代理として主審（レフリー）に届けなければならない。
- ③判定について主審、または副審に質問できるのは、主将だけとする。

3 試合の進行

(1) プレーヤーの位置とローテーション

- ①両チームプレーヤーは、サービスが行われる瞬間には定位置【図2】にいなくてはならないが、それ以降は定位置に関係なくコート内を自由にプレーすることができる。
- ②ローテーションは【図2】に示した順番で行うものとする。
- ③新しいセットのローテーションは、試合開始時の定位置に戻り開始する。

(2) プレーヤーの交代

- ①監督または主将は、ボールデッドのとき、主審または副審に選手交代のタイム・アウトを要求することができる。
- ②選手交代は、1セット内3回までとする。
- ③選手交代でコートに入ったプレーヤーのサービス・オーダーは、前プレーヤーの順序による。
- ④選手交代でベンチに退いたプレーヤーは、そのセット内で一度だけコートに戻ることができる。この場合、前に交代したプレーヤーとのみ交代することができる。
- ⑤3回の選手交代をおこなった後、負傷者等が出た場合には、主審の判断により他のプレーヤーと交代することができる。なお、選手交代が認められたときは、監督または主将が速やかに交代選手を報告しなければならない。

4 プレー上の動作と反則等

(1) サービス

- ①両チームの主将は、試合前にジャンケンを行い、コートかサーブ権のいずれかを選び、サーブ権を選択したチームよりサーブを行う。
- ②サーブは、オーダー順に手か腕を使い、体則を離れないようにし、しかも地面と垂直に打つ。なお、手首を動かすなど故意に変化をつけた場合は反則とみなす。
- ③サーバーは、ボールを打つ瞬間においては、両足をサービスエリアに置きサービスラインを踏み越えてはならない。なお、両足を揃える必要はない。

- ④サーバーは、主審の合図により、直ちに（５秒以内）サーブをしなければならない。
- ⑤サーブは１回とし、マーカー内（両支柱の間）をネットに触れないように相手コートに入れる。
- ⑥次のような時は、フォールト（サーブ失格）となる。
 - ア ボールがネットに触れたとき
 - イ ボールがネットの下を通過したとき
 - ウ ボールが支柱に触れたり、両支柱のネット上を完全に通過しなかったとき
 - エ ボールが相手プレーヤーに触れる前に、味方のプレーヤーや他の物体に触れたとき
 - オ ボールの外周が相手コートの区画線外に落下したとき
 - カ ボールを手から離さないままサーブしたとき
 - キ 故意に変化をつけたとき

（２）ボールへの接触

- ①相手コートに返球するときには、必ず３回でしかも３人で返すこと。但し、３回目がネットに触れた場合には、もう１回プレーできる。
- ②ボールを打つ場合は、身体の中の部分を使って打っても良い。
- ③プレーヤーは、ボールを静止させないで打つこと。ボールがプレーヤーの身体の一部で静止したときには『ホールディング』の反則となる。
- ④プレーヤーは、３回目で相手コートに返球するときボールがネットに触れた場合を除いて２回以上続けてボールに触れてはならない。また、身体の上以上以上触れたときには『ドリブル』の反則となる。
- ⑤味方の２人以上のプレーヤーが同時にボールに触れたときは、１回として数え、その後どちらのプレーヤーが続けてボールに触れても、ドリブルとはならない。
- ⑥両チームのプレーヤーが同時に反則したときは、ノーカウントとし、同じサーバーのサーブで再開する。

（３）タイムアウト

- ①監督または主将は、ボールがデッドのとき、主審または副審に休息のためのタイム・アウトを要求することができる。タイム・アウトは１セット２回、１回３０秒以内とする。このとき、両チームのプレーヤーは、コートを出てベンチで待機しなければならない。
- ②セット間のタイム・アウトは、２分間とする。
- ③主審または副審は、プレーヤーが負傷した場合、または必要があると判断したときには、タイム・アウトを宣告することができる。（レフリー・タイムアウト）

（４）その他の反則

- ①ベンチの監督・コーチ等は、ベンチの定位置から離れて、プレーヤーに対して指示・アドバイスをしてはならない。
- ②審判の判定に従わないなどスポーツマンシップに反するような言動があったとき、主審は１回目を警告とし、２回目には退場処分にすることができる。
- ③相手コート上にあるボールを、ネットを越えて触れた時は『オーバーネット』の反則と

なる。

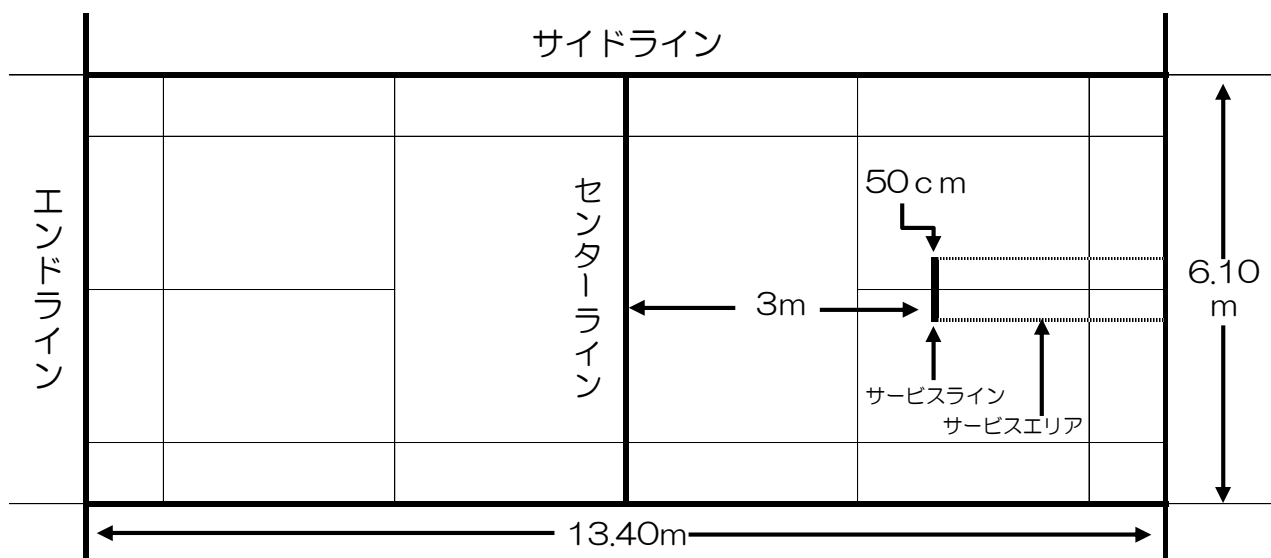
- ④インプレー中に、身体の一部がネットに触れた時は『ネットタッチ』の反則となる。
- ⑤相手チームのプレーに対して、妨害を加えた時は『インターフェア』の反則となる。
- ⑥サイドアウト後に、ローテーションを間違えてサーブをおこなったときは『ポジションフォールト』の反則となる。

平成26年4月1日 熊本県子ども会連合会ビーチボールバレールールに準じて変更。

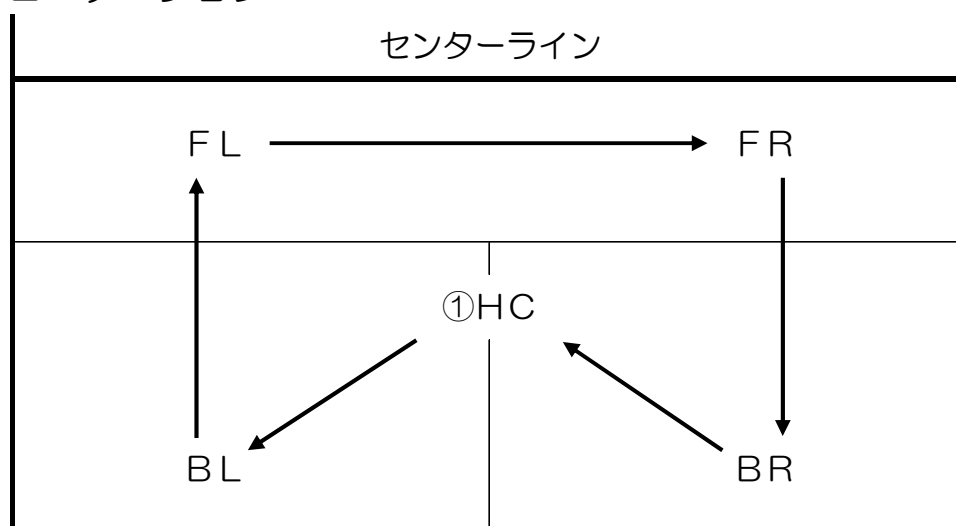
平成30年7月11日 熊本県子ども会連合会ビーチボールバレールールに準じて変更。

令和元年6月7日 熊本県子ども会連合会ビーチボールバレールールに準じて変更。

【図1】コート



【図2】ローテーション



【図3】ボールはビーチバレー用ビニール製ボールを使用する



ボールのこの部分に 35 cmと記載してあるもの。

※円周は 78 cm～80 cm程度を基準とする。